

# 講義 7

## 家計改善支援でうまく いかなかったのは何故か —相談の留意点や連携のあり方—



# 1. 検討事例

## 2. インテーク・アセスメントシート

ID		氏名		最終更新日	平成 年 月 日
サブ区分フラグ		関連ID		備考	

### ■ 相談経路・相談歴

当初 相談 経路	<input type="checkbox"/> 本人自ら連絡(来所)	<input type="checkbox"/> 本人自ら連絡(電話・メール)
	<input type="checkbox"/> 家族・知人から連絡(来所)	<input type="checkbox"/> 家族・知人から連絡(電話・メール)
	<input type="checkbox"/> 家計改善支援機関がアウトリーチして勧めた	
	<input type="checkbox"/> 自立相談支援機関がアウトリーチして勧めた	
	■ 関係機関・関係者からの紹介(関係機関・関係者名: 実母のケアマネの紹介⇒自立相談支援機関 )	
	<input type="checkbox"/> その他( )	
これまでの相談歴の有無(本人や家族に過去にどこかの機関への相談経験があるかを確認)		
■ なし <input type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/>		
相談歴の概況/相談経緯(誰が、どこに、どのような相談をしたか、その結果がどうであったかを記載)		
介護保険サービスの滞納があり、母親のケアマネージャーから家計相談につながった。		

### ■ 本人の主訴・状況(生育歴を含む)

(1) 主訴(本人の希望)  
 母の年金を管理しているが、介護保険サービスの支払いが滞っている。  
 滞納などたまった費用をどのように払っていったら良いかわからない。

(2) 本人・家族の環境  
 本人 40代女性(未婚) 職業 スーパー勤務(パート)  
 世帯人数 2人(母 70代身障2級・要介護2 デイサービス+お泊りデイ、父 2年前他界)  
 世帯の収入 19.5万円(本人給与11万円、母年金2万円、遺族年金6.5万円※年金担保債務3.5万円返済中)

(3) 債務・滞納の現状  
 債務は総額で、110万円(消費者金融 1社 60万円 月返済額 2.1万円、親戚 50万円…ある時払い)  
 ※年金担保債務残 62万円(月返済額年金天引 3.5万円)  
 滞納は、本人入院費(完治)17万円、母入院費3万円、母デイ24万円、家賃14.4万円 au16万円、ドコモ12万円、国保税43.8万円、市県民税11.4万円、合計141.6万円

(4) 現状に至った過程・生活環境  
 ・相談者は10年以上前にパチンコによる借金で自己破産し、同時に保険会社を退職。  
 ・母親の自宅介護が難しくなり、9ヵ月前よりお泊りデイを利用。費用は約6万円。  
 ・家賃滞納は隣の大家さんが滞納しても待っていているので甘えてしまった。  
 ・水光熱費は年金で2ヵ月分まとめて支払い、税金等は納めていない。  
 ・借金の原因は父親他界後の生活費や入院時の生活費。  
 ・勤め先に電話があったため消費者金融には支払っているが、病院などは後回しにしている。  
 ・今の仕事は社保付きで昼から夜のシフト。以前はWワークをしていたが体調を崩した。  
 ・今はパチンコも3,000円以上はしていない。

(5) 家計診断の結果～詳細は「家計収支に関する課題」に～  
 現状は、収入19.5万円、支出21.5万円、赤字2.0万円  
 家計(が成り立つため)の現状の課題は、債務整理と滞納を減らすこと。

## (6) 面談の結果

- ・ 自立支援事業所でケアマネ同席のもと家計表を作成。
- ・ (支援方針)
- ・ 債務整理は弁護士に相談する。
- ・ 施設利用時に世帯分離していた母を扶養に入れて、家計が成り立つようにする。
- ・ 母親の年金(2ヵ月に1回給付)で施設費用2ヵ月分、水光熱費2ヵ月分など支払い、滞納が増えないようにする。
- ・ 年金担保の債務返済が終了する1年後までは、できる範囲で滞納金を返済する(相談者と確認したこと～初回面談のまとめ)
- ・ 支援方針、弁護士、市役所への同行を確認した。

## (7) 相談者の感想～相談員から見て、結論に対してどんな反応だったか～

- ・ 聴き取りをしている間涙を流すことが多く、「母親の施設の費用を滞納してることで肩身の狭い思いをさせて申し訳ない」と母親に対しての言葉があった。
- ・ 「話すことで前向きになれた。年金担保が終わるまであと1年、がんばって滞納を少しでも減らしていきたい」とも話した。

.....

## 支援経過記録

### ◇5ヵ月に亘る継続面談・支援を実施・面談6回 弁護士同行2回 市役所同行1回)

- ・ 債務整理を弁護士に相談し、消費者金融債務60万円を任意整理し、月1万円返済で和解。
- ・ 市県民税滞納は、市役所へ同行して母親を扶養に入れて27年度2万円の還付で精算し、28年は減額(4,000円)、確定申告も行う。
- ・ 国保滞納は、相談に同行して分納(1年目1.4万円、2年目2万円)ができることになった。(支援期間の相談者のようす)
- ・ 毎月の面談では、本人が支払いのメモなど持参するようになった。
- ・ 表情も明るく涙を流すことも無くなった。
- ・ 消費者金融からの督促など無くなったこと、税金の支払いや分納が出来るようになったことがうれしいと話していた。
- ・ パチンコも3,000円を守っている。行かない月もあると言っていた。

### ◆ケアマネから自立相談支援員に母施設滞納の連絡が入ってからの急展開

- ・ ケアマネから、「施設の費用が2ヵ月に1回1ヵ月分の支払いになっており、滞納が増えている。相談ではどのようにしているのか知りたい」と自立相談支援員へ問い合わせがあり、「母親の年金で2ヵ月分11万円ずつ支払いをしていると本人から聴いている」と答えられた。
- ・ 答えると同時に家計改善支援員にケアマネからの問い合わせ内容が伝えられた。
- ・ 家計改善支援員は2週間後に面談の予約をしていたため、施設の確認をとってから面談時に本人に確認をしようと自立相談支援員と相談した。
- ・ 面談前にケアマネが自宅訪問し「施設から支払いの状況を聴き自立と家計にも伝えた」と話したところ、「自分に相談も無く問い合わせたことが許せない」と相談者が怒り出した。
- ・ その後予定していた家計の面談は体調不良の為キャンセルの電話(伝言のみ)があった。
- ・ 以降、連絡は取れず終了となってしまった。
- ・ 毎月の面談を重ね滞納の分納、債務整理など収支の改善が一部できたものの、当初の相談経緯であった母親の施設費用の滞納が増加する結果となってしまい、何に使ったのかも不明のまま支援が途絶えてしまった。

ID

## 3. 相談時家計表 ( 年 作成)

相談者氏名  
担当相談員名

世帯基本情報	世帯人員計	2人
【内訳】	成人	2人
	うち高齢者	1人
	未成年(下記以外)	0人
	大学生等	0人
	高校生	0人
	中学生	0人
	小学生	0人
	未就学児	0人

収入		
名義人	費目	金額(円)
前月からの繰越金		
基本収入		195,000
本人	給与 ①社保付き	110,000
	給与 ②	
配偶者	給与 ①	
	給与 ②	
母	年金	20,000
母(遺族)	年金(担保返済3.5万後)	65,000
同居者( )	年金	
臨時収入・賞与		0
本人	(賞与 年間 万)	
配偶者		
援助収入や手当等の収入(毎月)		0
	雇用保険	
	生活保護	
	養育費	
	援助	
援助収入や手当等の収入(毎月以外)		0
	児童手当	
	児童扶養手当	
	援助	
	副次的な収入	
借入金		0
借入金	( )	
預貯金取崩し		
当月の収入合計		195,000
前月繰越含む収入合計		195,000

支出			備考
費目	相談時	家計計画	
住居費			
家賃	36,200	46,200	1万上乗せ(滞納14.4万円)
管理費			
維持費・修理費・更新費			
基本生活費			
食費	15,000	15,000	母施設で食べる
外食費			
電気代	5,000	5,000	
ガス代	4,000	4,000	
水道代	4,500	4,500	
灯油代	0		
被服・理美容・雑貨費			
医療費・介護費等	55,000	55,000	母施設費用滞納24万
通信費・車両費			
電話・携帯電話・インターネット	0	3,000	プリペイド携帯
ガソリン代(通勤費含む)	2,000	3,000	
駐車場代			
車検・車修理代			
通勤交通費			
教育等費用			
学費・保育料・給食費等			
部活動等の費用			
通学交通費			
塾・習い事費用			
お小遣い			
教養・娯楽費用			
新聞・本・雑誌・教養用品	3,000		解約
遊興費・娯楽費用	10,000	3,000	パチンコ
その他			
酒代/酒飲食交際費			
たばこ・お小遣い	5,000	3,000	
たばこ・お小遣い			
税金・保険			
税金(住民税・固定資産税・自動車税等)	5,000		母を扶養に入れ還付金で
社会保険料(国保・国民年金等)	20,000		
貯蓄型保険(学資・年金保険等)			
掛捨て型保険(車・火災等)	5,000	5,000	
その他保険料	5,000	2,000	県民共済(1口に減らす)
返済金			
住宅ローン			
自動車ローン			
銀行			
消費者金融	21,000	10,000	消費者金融60万 任意整理 弁護士費用3万
クレジット(キャッシング・物品)			滞納24万。分納1.4万 2年目~2万
滞納税金・社会保険料等		14,000	
滞納生活費(家賃・光熱水費等)	20,000	20,000	滞納 本人病院17万、母病院3万、au16万、NTT12万。2万の範囲で分割する。
個人からの借金			
その他の返済			
家計再生のための新規借入の返済			
預貯金預入れ			
当月の支出合計		215,700	192,700
翌月への繰越金		▲20,700	2,300
翌月繰越含む支出合計			

## 講義 7 演習

(1) ご紹介したのは、家計改善支援員としては精一杯支援に取り組んできたつもりであったが、滞納の解消を願った相談者の課題を解決できないまま支援が途絶える結果となった事例です。以下の設問を考え、グループでまとめて発表してください。

1. 支援の内容で、いいなと思えるところや自分であればこうしたいと気付いたことがあれば、理由も含めて記入してください。

①いいなと思えるところ

②私であればこうしたい

2. 連絡が取れずに終了となったのですが、何故だと思えますか。

(2) 東近江市社協相談支援課 主幹 細野淳子さんからのコメント

(3) 講師からのコメントと事例を提供した事業所のその後の検討を紹介